

## Dropped One-sen Coin

A sparrow found one-sen coin.

She was so pleased and said to her friends,

“I have money.”

Saying so, she put the coin held in her bills on the sand and showed it.

At sunset, it was getting dark.

“I’m absorbed in play. I have to hurry.”

Saying so, she held the coin in her bill and flew toward the watermill in a hurry. This sparrow lived in a lumberyard of it.

Before getting there, she was so upset that she fell the coin on the field while flying.

“Oh, dear. I lost the coin.”

It was so dark she couldn’t find the coin any more.

“I’ll find it tomorrow morning.”

Saying so, she came back to her nest in the watermill.

It was so cold at night that she caught a cold.

That was because it snowed so much.

As she didn’t get over her cold, she thought of the coin every day, wrapping herself up in straw.

Soon she got well and flew up to find the coin.

There was still much snow on the field.

“Where is my coin? Are you under the snow?” She asked over the snow.

Then someone answered from under the snow,

“No, it is not here.”

She flew to a different place and asked,

“My coin, are you under this snow?”

From under the snow,

“No, it is not here.”

She flew here and there, asking.

At last someone said,

“Yes. It is here. Please come here again when the snow melts.”

The sparrow came again to the field on a day when there is no snow. She did find the coin.

There she caught a sight of many butter-bur sprouts.

It was these sprouts that told the place of the coin.



(2022.12.30 Kudo Original by Niimi Nankichi)

# 落とした一銭銅貨

新美南吉

雀が一銭銅貨を拾いました。

雀はうれしくてうれしくてたまりません。

ほかの雀をみると、

「ぼくお金を持ってるよ。」

と言って、くわえていた一銭銅貨を砂の上に置いて見せてやりました。

さて、日暮れになりました。少し暗くなってきました。

「や、遊びすぎちゃった。これは大変だ。」

と雀は、一銭銅貨をくわえて、大急ぎで水車小屋の方へ飛んで行きました。この雀は水車小屋の木場に住んでいたのでありました。

まだ水車小屋に着かない前、畑の上を飛んでいた時、あまりあわてたので、雀は銅貨を落としてしまいました。

「や、これはしまった。」

けれどあたりはもう暗くて、雀の目はよく見るができなくなっていたので、

「あしたの朝探しに来よう。」

と言って、そのまま水車小屋の巣に帰りました。

その夜は大変寒かったので、雀は風邪を引いてしまいました。

それもそのはず、雪がどっさり降ったのでありました。

雀は風邪がなかなか治らないので、毎日藁の中にくるまって、落とした一銭銅貨のことを思っていました。

やがて雀はよくなりました。そこで一銭銅貨を探しに行きました。

まだ雪は畑の上に積もっていました。

「私の、私の一銭銅貨、この下にいるのかい。」

と、雀はは雪の上から聞きました。

すると雪の下から、

「いえいえ、ここにはありません。」

と誰かが答えました。

雀はまた別の所へ行って、

「私の、私の一銭銅貨、この下にいるのかい。」

と聞きました。

するとまた雪の下から、

「いえいえ、ここにはありません。」

と答えました。



雀はあちらこちらと尋ねて歩きました。

するととうとう、

「はいはい、ここにありますよ。雪が溶けたらおいでなさい。」

と答えなさい。

雀は雪の溶けた日にまた畑にやって来ました。銅貨はちゃんとありました。

見ると畑には一杯ふきのとうが出ていました。銅貨のある所を雀に教えたのはこのふきのとうだったのでしょう。